

中間決算説明会 プレゼン資料



2016年11月
株式会社タダノ

説明内容



I . 事業に対する基本の考え方
+ 中期経営計画 (P.1~16)

II . 16年度上期 + 今後 (P.17~27)

I . 事業に対する基本の考え方 + 中期経営計画

1

1. タダノの事業領域

- ・1948年 設立
- ・1955年 日本初の油圧式クレーン

抗重力・空間作業機械 (移動機能付)
= Lifting Equipment (LE)

私たちタダノグループは、
経営理念「創造・奉仕・協力」の実現を事業目的と位置づけ、
それを「到達点のない永遠に目指すべきゴール」として、より高みを目指します。

事業目的



経営理念

創造【Creation】

工夫による前進と誇りうる品質のために創造しましょう。

奉仕【Contribution】

顧客の利益と住みよい社会の建設のために奉仕しましょう。

協力【Cooperation】

私達の幸福と堅い心の結びつきのために協力しましょう。

世界に、そして未来に誇れる企業を目指して

私たちタダノグループは、

- ・全てのステークホルダーの期待に応え、企業価値を最大化します。
- ・学習し、成長し続ける組織文化を構築します。

事業目的 ビジョン



事業活動の持続的な成長を図り、企業価値の最大化に努めます。

株主

社員

自らが起点となり、競争力を高め、企業と共に成長します。

社会

安全と環境を常に考え、社会に役立つ製品を提供します。

取引先

よりよい製品・サービスの創造のために、切磋琢磨し、共に成長します。

顧客

常にお客様の視点に立ち、製品・サービスを通じてお客様の事業価値向上に努めます。

私たちはどんなときも絶対に譲れない価値観を「コアバリュー」として共有し、それを絶えず追求します。

また、安全第一・品質第二・効率第三という優先順位はどんな時も変わりません。

但し、三番目の効率を抜きにして企業経営は成り立ちません。

そのためにも、安全第一と品質第二を何としても確保しなければなりません。



1. 安全【S】 Safety

つくる人、扱う人、そして社会の人々の全ての安全を最優先します。

2. 品質【Q】 Quality

質の向上を追求し、製品・サービス・業務の品質を高めます。

3. 効率【E】 Efficiency

業務効率を向上させるとともに、顧客の経営効率改善に寄与します。



- LE世界No. 1
- 海外売上比率 80%
- 安定的 高収益企業
(平時の営業利益率 20%)

世界の人口動態を考えれば、LEは成長産業

LE業界もタダノもポテンシャル 大

長期的には右肩上がりだが...

短中期的には需要はUp & Downを繰り返す

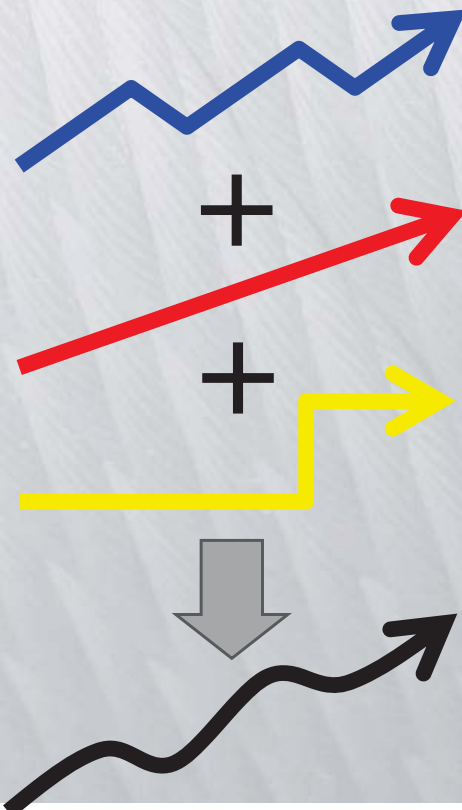


市場(需要・為替)

自助努力

投資(新工場・M & A)

業績

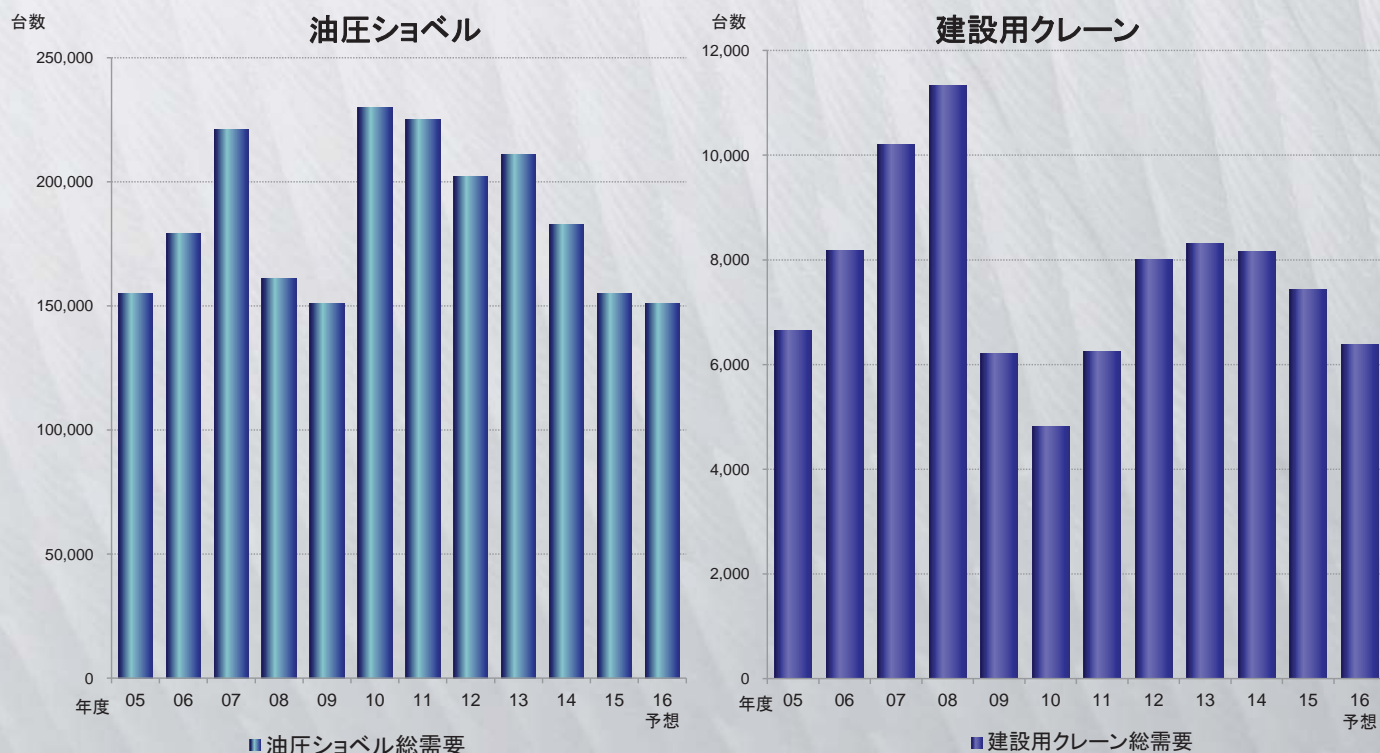


8. 建設用クレーンの特徴



▪ 複雑で難しい機械	部品点数	多
	加工精度	高
▪ 需要	山谷の差	大
▪ 部品売上比率		低
▪ 中古車価値		高

9. 総需要推移の比較



*当社調べ。建設用クレーンは中国・ロシア国産除く

10. 部品売上比率の比較



	14年度	15年度	16年度上期
コマツ	19.6%	21.4%	22.1%
日立建機	21.4%	23.2%	23.3%
タダノ	6.3%	6.3%	6.4%

11. 何をもって勝負していくか？



商品力
+
製品品質
+
サービス力
+
中古車価値

- ・長期にわたって磨きこみ、長期にわたって獲得していく競争優位性
- ・**四拍子そろったメーカーに！**

<< 基本方針 >>

「強い会社」に

「強い会社」とは、
いかなる外部環境にあろうとも、
「利益を出す」・「人を育てる」を毎期継続することができる会社



<< 3つの重点テーマ >>



7つの戦略

- ① 基幹市場の拡充と戦略市場の拡大
- ② No.1商品の提供とラインナップの充実
- ③ グローバル&フレキシブルものづくりへの取り組み
- ④ 感動品質、感動サービスの提供
- ⑤ ライフサイクル価値の向上
- ⑥ 収益力のレベルアップ
- ⑦ グループ&グローバル経営基盤の強化

15. 中期経営計画(14-16)目標と実績

	中計目標	14年度	15年度	16年度見込
売上高	2,200億円	2,040億円	2,094億円	1,800億円
日本向け	880億円	1,005億円	1,049億円	1,020億円
海外向け	1,320億円	1,035億円	1,044億円	780億円
海外売上高比率	60.0%	50.7%	49.9%	43.3%
営業利益	300億円	294億円	310億円	180億円
営業利益率	13.6%	14.4%	14.8%	10.0%
たな卸し資産 回転率	5.0回転	4.0回転	3.9回転	3.7回転
ROA	13.0%	13.9%	13.5%	7.7%

Ⅱ. 16年度上期 + 今後

17

1. 16年度上期

- ・日本市場 安定
- ・海外市場 12年度ピーク、13年度から3年連続需要減
16年度 更に減少
シェアアップ
- ・3年連続で過去最高売上・利益を更新したが、
6年ぶりに減収減益

現状の見方：今後2年間は厳しい

日本市場 安定

(18年度まで高原状態、19年度から減少)

海外市場 厳しい(17年度まで減少、18年度から回復)

- ・日本が比較的好調な間に、海外での市場ポジションを引き上げる
- ・17年度業績は16年度と同レベル
- ・市場環境は不透明だが、リーマンショック前の過去最高売上・利益(07年度)と同等以上のレベルで

3. 07年度と16年度の比較

	07年度	16年度見込
売上高	1,743億円	1,800億円
日本向け	928億円	1,020億円
海外向け	815億円	780億円
営業利益	179億円	180億円
世界需要	10,204台	6,390台
日本(年度ベース)	2,458台	2,300台
海外(暦年ベース)	7,746台	4,090台
日本シェア	51.3%	49.3%
海外シェア	14.1%	25.9%
為替(ドル期中平均)	117.84円	107.77円

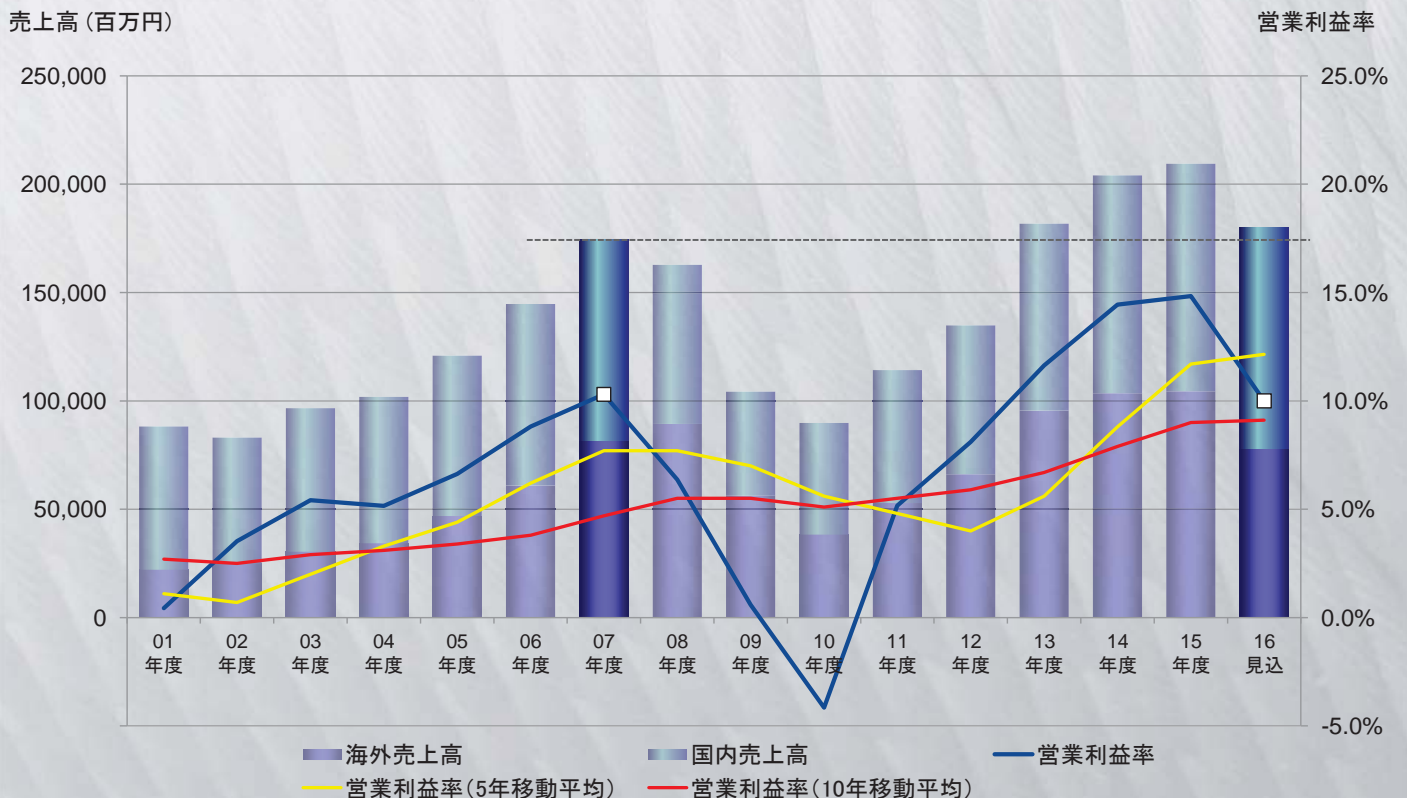
4. 長期成長を目指して



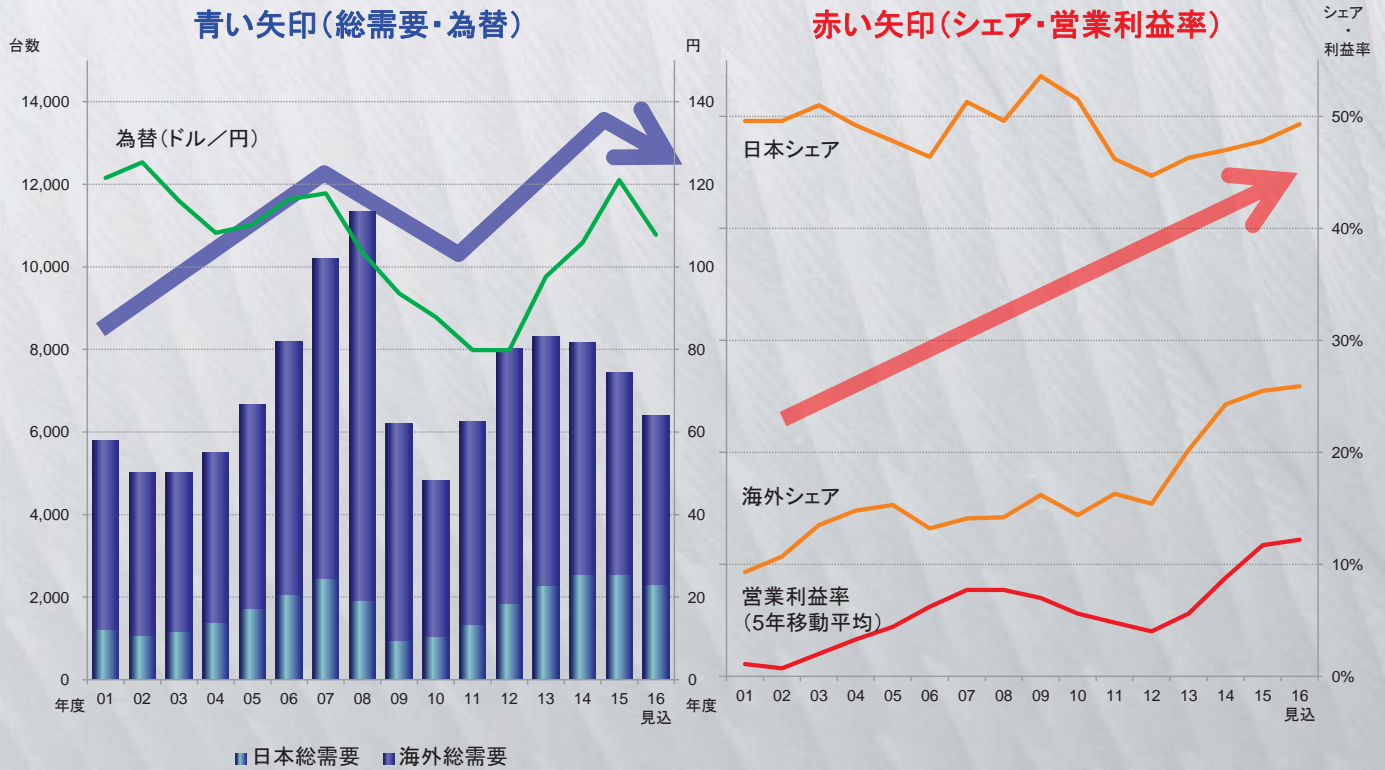
・これまでのタダノ

・これからのタダノ

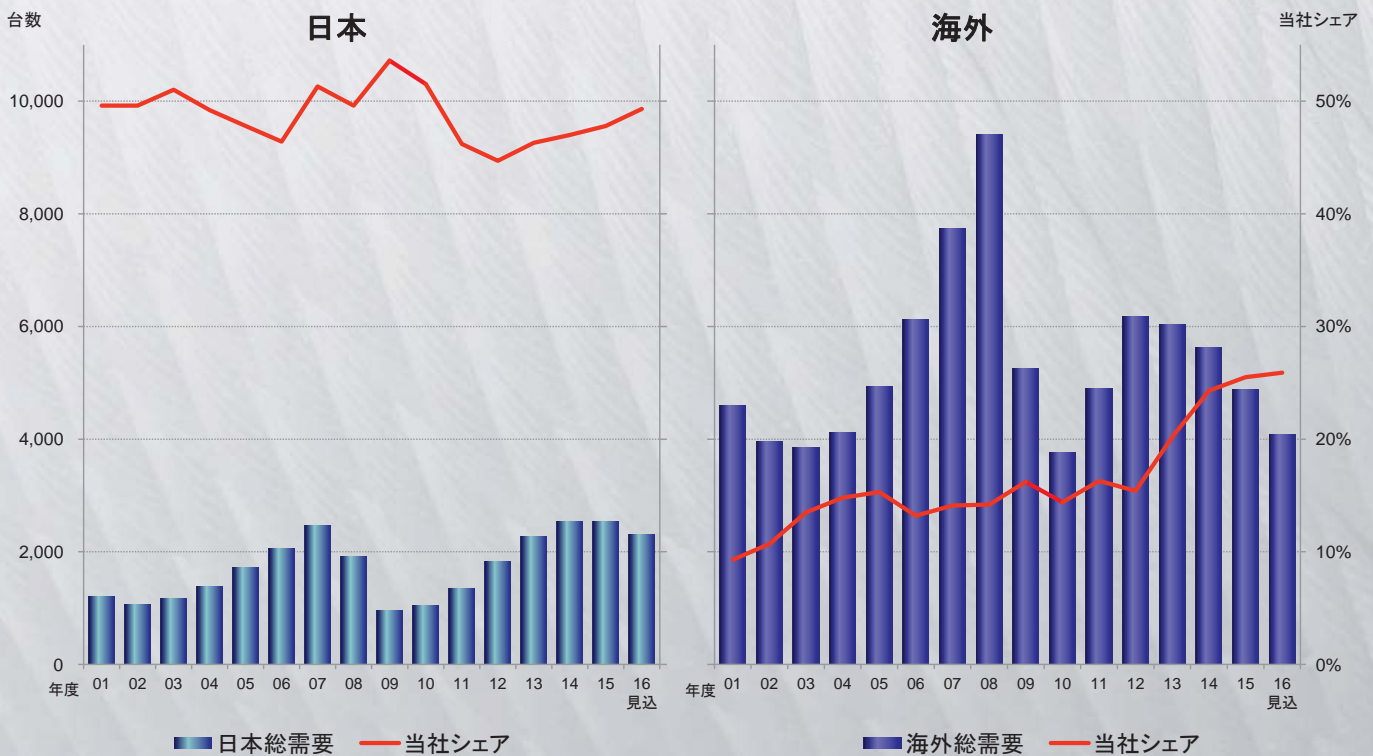
5. 売上高・営業利益率の推移



6. 青い矢印と赤い矢印



7. 建設用クレーン総需要とシェア



次期 中期経営計画(17-19)

策定中

長期目標達成に向けた中間目標

売上高	3,000億円 (日本1,000億円、海外2,000億円)
営業利益	500億円 (営業利益率16.7%)

- ・販売、部品・サービス拠点増強
- ・中古車 体制整備
- ・新工場建設
- ・M&A 2件

- ・RC 更なるシェアアップ
- ・ACとTCに大きな成長余地あり
AC 2年間で下地を作り直し、18年度からシェアアップ
TC 練り直し、17年度から反転攻勢
- ・車両搭載型クレーン 海外売上増強

- ・ICTを活用したソリューションビジネスの展開

世界に、そして未来に誇れる企業を目指して

Pursuing Further Excellence
for the World and the Future.

ご安全に！！
Safety First!!
Glück auf !!